

／ 明日から使える ／ 多胎育児家庭支援のための WEBコンテンツ

多胎家庭を支援する医療専門職や子育て支援者等が、
【明日から使える】実践的で正確な支援知識を、動画で提供します



Ⅰ 多胎に関する基礎知識

どのような支援においても知ってほしい、多胎の妊娠・出産・育児の現状や多胎家庭の気持ちについて理解を深めるためのコンテンツです。積極的な支援を考え実践するうえでの、多胎の基礎知識の研修になります。

<所要時間は各 15～20 分です>

1

多胎の妊娠・出産

<https://youtu.be/BtWF9aYgaU0>



2

多胎育児の特徴と家族の支援

https://youtu.be/koU_v-V9H3M



3

多胎家庭における社会資源の活用

https://youtu.be/h9_TOVvy7ec



行政関係者の感想

多胎妊娠は、妊婦の妊娠に関する不安や、今後の生活への影響、孤立感など精神的な影響も大きいことが理解できた。多胎妊婦の特徴を理解し、産後の身体的影響を踏まえ妊娠中の早期から支援を行っていくことの重要性を学ぶことができた。

子育て支援団体関係者の感想

同じ「育児」という言葉であっても、単胎育児と多胎育児では全く異なるものだと感じた。産後の母親の負担、家族の負担は単胎育児とは比べ物にならない程大変で、周りのサポートや支援がとても重要な役割を果たすと思う。

Ⅱ 支援場面ごとの基礎知識

多胎家庭を地域で支えるためには、さまざまなアプローチが必要です。それぞれの支援策やその注意点を知り、多職種で連携をはかりながら多胎家庭の支援を組み立てるヒントとするための研修コンテンツです。

<所要時間は各 15～25 分です>

1

多胎家庭を地域でサポート～子育て支援者研修～

知っておこう多胎支援のポイント
子育て広場に welcome

<https://youtu.be/7qbaWEURClo>



2

多胎家庭への訪問型支援者研修

<https://youtu.be/-iCnFz9OFal>



3

多胎家庭を支援するピアサポート

<https://youtu.be/QDdGhj045ll>



医療関係者の感想

保健師がコーディネーターとなり、ピアサポーター、ヘルパー、助産師などが多職種で関わる仕組み作りが大切だと感じた。ピアサポーターの存在は、多胎家庭だけでなく、支援する側にとっても大きい。

多胎支援団体の感想

多胎支援の必要性を少しでも理解していただくには、色々な方々との対話が必要であることが理解できた。さまざまな支援者と交流させていただき、双方の困っていることや改善点なども地域で話していきたい。

【研修コンテンツの感想について】

IおよびIIのオンデマンド研修は、2020年11～12月に先行配信し、医療関係者、行政関係者、民間子育て支援団体関係者、多胎サークル・多胎支援団体関係者、多胎家庭の皆さんに参加していただきました。

》 III 多胎育児当事者のインタビュー

多胎育児当事者のママやパパのインタビュー動画です。個別あるいは時期別になっており、当事者がおかれた状況やその気持ちを具体的に知ることができます。

<所要時間は各 15 ~ 25 分です>

1 多胎育児当事者のインタビュー

https://jamba.or.jp/to_supporter/supporter-course/wam2020_interview



》 IV 双胎間輸血症候群（TTTS）と類縁疾患

一絨毛膜双胎（胎盤が1つの双胎）に起こる特殊な病気、双胎間輸血症候群とその類縁疾患について、イラストを交えてわかりやすく解説する動画です。

<所要時間は各3~5分前後です>

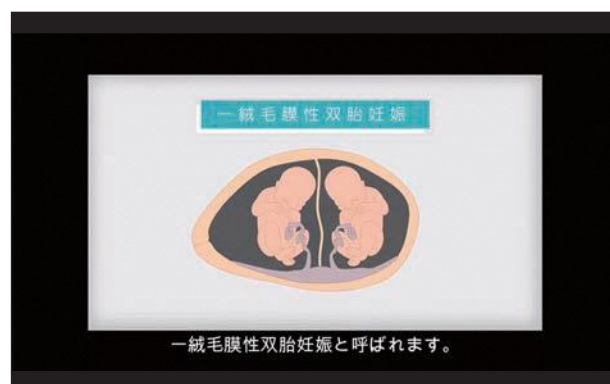
1 双胎間輸血症候群（TTTS）

https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_ttts



2 TTTS 類縁疾患

https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_similar_disease



事業評価者コメント

NPO 法人ホームスタート・ジャパン
共同代表 西郷泰之

厚生労働省子ども家庭局長が、令和3年度の国の予算説明で強調するなど、多胎家庭支援は社会的な注目を集めています。この事業では、支援が必要な多胎家庭へ、適切な支援を届かせるための各種コンテンツの開発がされました。専門性が担保され、当事者の視点で、かつ分かりやすい動画やホームページが作成されています。今後は、全国で普及・活用されるための戦略構築を期待します。

認定 NPO 法人おやこの広場あさがお
事務局長 川上由枝

地域の子育て支援者として、本事業の一連の開発は「なぜ、多胎育児支援が必要か」を根本から理解でき、支援者本位ではなく、「それぞれの多胎家庭に沿った支援がどうあるべきか」を具体的に導いてくれる内容です。それらを実際の支援の場がいかにかに充実させ、実践していくかが、今後現場に課せられる課題だと思います。

【本コンテンツの利用について】

本コンテンツは多胎家庭支援のためにどなたでも利用していただけますが、日本多胎支援協会が提供する動画の著作権は原則、当協会に帰属します。参加者を広く募った研修会などで上映する際には、以下のフォームでご連絡ください。

営利目的の場合は有償となります。また、動画を編集・改編しての使用はお断りします。

<https://forms.gle/wbfWjSfXztd5RBsf9>



》 V 多胎育児のコツと心得

多胎育児で特に負担感を持ちやすい授乳、沐浴、泣き、離乳食、けんか、事故防止、外出について、多胎育児ならではの特徴と具体的な対処法を動画にしました。多胎児を育てる家族、医療関係者、行政関係者、子育て支援者等が、それぞれ個別に、あるいは一緒に視聴できるよう、短時間の動画になっています。

<所要時間は各5～7分です>



同時授乳



泣き

このページはコピーして、
多胎育児家庭にお渡しいただくなど、
広くご活用ください

- 1 同時授乳
https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_breastfeeding
- 2 沐浴
https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_bathing
- 3 泣き
https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_babycrying
- 4 離乳食
https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_babyfood
- 5 けんか
https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_fight
- 6 事故予防
https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_injury-prevention
- 7 外出
https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_outing
- 8 外出ツール
https://jamba.or.jp/wam2020/wam2020_outing-tool

